

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2016年(平成28年) 11月号



No. 344

発行：沖縄県中小企業家同友会 編集：広報委員会

〒901-0152 沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208 http://www.okinawa.doyu.jp E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



支部長になって良かった

「支部長になって意識が変わった、もっと早く引き受けるべきだった」と。今年度から宮古支部長として支那活性化に取り組み砂川和江支部長。「同友会の良さを取り入れて、会員企業が力を発揮することが支部長の仕事。自分自身が手本になるよう頑張る必要があります、今がスタートです」と熱く語ります。

宮古島の観光客数は増加しましたが、必ずしも宮古全体の経済効果につながっていません。若者が島外に出ていくのは、宮古島企業

アイワ家具の砂川和江代表は、今年度から宮古支部長として、支那活性化に取り組んでいます。会社事業に同友会活動に全力投球の日々です。

が若者の能力を開花させるだけの力がないからではないか。

支部長になって感じたことは、「会費は同じだが、距離的なハンディで同友会の学びの恩恵を受ける機会が少ない」ということ。宮古で開催しても短縮プログラムでは、十分に活用できない。「それなら宮古島から本島へ行くのではなく、宮古島でも本島と同じ内容の企画を実施して、宮古島の企業体質を強くしよう」と。支部長としてはこれまで

地域への影響力も

十月八日、浦添市で行われた「雇用・就労支援フォーラム」の基調講演(二面記事参照)は、宮古支部長でもインターネットによるサテライト上映を行いました。砂川支部長は、絶好のチャンスと市長や議員にも参加を呼びかけ、翌日の宮古新報、宮古毎日の二紙で大きく取り上げられました。「地域と共に」の実践です。

また女性経営者を増やして、どのような環境変化にも対応できる企業、人を生かす経営の実践を推進していきたいと意気込みます。

皆がハッピーになる企業

社長・社員共育塾に社員と参加し、自社が目指す「幸せづくり夢づくり地域No.1企業」を実現するために



心地良い未来の創造で、人と社会に愛される企業

アイワ家具 代表者 砂川和江氏

「企業」を実現するために何が重要かと話し合う中で、社員がルン・日々ハッピーで仕事に取り組むことが大切という結論に至りました。社員からお客様そして地域の皆様にもハッピーを伝え、「宮古島から全国へ」ハッピーの波紋を広げたいと日々頑張っています。

アイワ家具は、家具店ではありませんが、インテリア雑貨、生活雑貨、アパレル等も含めて数多くの商品を取り扱っています。商品は種類別陳列ではなく、商品の中に全部の品を組合せて見せています。ウインドウショッピングのお客様に都度、楽しんでもらいたい。お客様から「おもしろい家具屋だ、こんなお店見たことない」と驚きが。普通は運送手続き等を考えると観光客が家具を買うことは少ないですが、宮古島に来るすべてのお客様にハッピーな気持ちになつてもらいたい。そして宮古島にまた足を運んでほしい。お店の間を利用して一人ひとりが楽しい生活をしていただくことが自社の使命です。

アイワ家具は各メーカーや外国ブランドとも提携して全国への発送も行っている。商売未経験で七名兄弟の末っ子の和江さんが、兄の事業を引き継ぐとき、資金も商品もありませんでした。が、「日本一支払いのきれいな会社をつくらう」と考えました。資金決済の信頼感から選ばれる会社となることを目標として実行してきました。

《会社概要》

アイワ家具

代表者 砂川和江氏

所在地/宮古島市平西里981-3
TEL/0980-72-3277
事業内容/家具販売

人との出会いを大切に

人との出会いが唯一の趣味。座右の銘は「一期一会」。会員へは「同友会に入会したら、早い時期に役員を引き受ける」と得るものが多く、成長のスピードが速くなります」と、役員就任を奨励しています。(オフィスあるふぁ 青山喜佐子)

沖縄県中小企業家同友会 第27回 経営研究集会

日時 2016年11月29日(火) 13:00~20:00

会場 ●ロフゾールホテル那覇(基調講演、分科会、懇親会) 那覇市西3-2-1 ☎098-868-2222
●パシフィックホテル沖繩(分科会) 那覇市西3-6-1 ☎098-868-5162
●沖縄県男女共同参画センター(分科会) 那覇市西3-11-1 ☎098-866-9090

マイテーマ 人を生かす経営の総合実践で地域に必要な企業づくりを

内容

第1部 「開会セレモニー」(13:00~13:10)
「基調講演」(13:10~14:30) <80分>
テーマ: 足もとに笑顔を届ける会社
~奇跡を起こしたピンクの靴~
「業績」ではなく「継続」を目指して歩み続ける
講師: 徳武産業(株) 代表取締役会長 十河孝男氏(香川)

第2部 「分科会」(14:50~18:20) <3時間30分>

第1分科会
テーマ: 変化に適応し、常に変わり続ける
~経営指針で会社を鍛え直す~
報告者: (株)沖繩エジソン 社長 中山 淳氏(那覇支部)

第2分科会
テーマ: 将来を見据えた採用と共有に取り組んでいますか?
報告者: (株)ヴィ・クルー 社長 佐藤 全氏(宮城同友会)

第3分科会
テーマ: 先代のリーダーシップと2代目の果たす役割
報告者: イカリ消毒沖繩(株) 取締役 仲本 明氏

第4分科会
テーマ: 地域連携による事例紹介~つながる力、巻き込み力~
報告者: コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター内閣府認定地域活性化伝道師 石原 修氏

第5分科会 パネルディスカッション
テーマ: 社長の常識は、社員の幸せにつながっていますか?
~労働環境(就業規則など)整備が企業存続を左右する~

第3部 「懇親会」(18:40~20:00)

参加費 6,000円(基調講演・分科会・懇親会まで参加)
3,000円(基調講演・分科会まで参加)

茶論

公設市場周りに、立ち飲みブームによる新しいお店が増えている。県民の胃袋と愛された那覇市の中心市街地商店街には、現在もおよそ二〇〇〇事業者が商いを繰り広げている。昔は店の二階部分を住居としたが、近年は郊外への移住が増え、この地域の久茂地小と前島小は、那覇小学校として統合された。住民の減少により、魅力を失ったという声もあるが、迷路のようなスージグワや、元気で愛嬌のある現役おばちゃんパワースタッフは、まだまだ健在である。今、このエリアに「まちづくり会社」の創設を目指した取り組みが始まっている。公共トイレ不足、事業者の高齢化、建物の老朽化など、まちの新たな課題に取り組み、生き残りをかけた民間連携の挑戦である。これまで「まちづくり」の中心を担ってきたのは、第三セクターやTMOだが、二〇〇六年の中心市街地活性化法改正後、市町村の出資を受けず、有志の事業者や住民などによる民活が全国で増え始めている。那覇でも地域の活力低下に歯止めをかけようと、行政・事業者・通り会・市民などが一体となって取り組むのである。闇市として生まれた商人の町、那覇の魅力を経営資源として分析し、ビジョンを共有、地域の戦略事業を考案する。地域経営への挑戦に期待したい。

第11回 雇用・就労支援フォーラム基調講演 真にホワイト企業の考え方を 市民と取り組む

—宮古島で基調講演を同時中継!!—



片岡聡一氏

十月八日、浦添市でこのホールにて第十一回雇用・就労支援フォーラムが二〇二名の参加で開催されました。

オープニングではラブジャンクスによるダンスや「夢ケーキ」のDVDが上映され、開会式では沖縄高等特別支援学校の生徒さん等の司会進行でスタート。友寄利津子実行委員長(NPO法人ライフサポートでこ・代表)の主催者挨拶と

松本哲治浦添市長の共催挨拶があり、新城恵子代表理事より沖縄同友会挨拶がありました。その後、体験発表(沖縄高等特別支援学校・当山優衣さん、旬パソナルフードサービス・米須龍也さん、コープ物流セ



ダンスを披露するラブジャンクスの皆さん

ンター・上里奏太さん)の後、基調講演で岡山県総社市長の片岡聡一氏に「障がい者千人雇用」のテーマで講演が行われました。

「政治家は、自分の言葉で語らないといけない」とパワーポイントと別れた理由をユーモアを交え、「障がい者千人雇用」を真剣な言葉で講演会がスタートしました。その方の生涯を三つのカテゴリーに「〇十八歳、就労対象年齢、老齢)分け、市としてどう向き合おうとしているか話されました。リーマンショツ

ク直後に「障がい者千人雇用委員会」を立ち上げたことから、新聞や経済団体からパフォーマンスと批判されたり、議会と侃々諤々、何とか条例に至った状況と熱い想いを話されました。

「そして今、国が大きく変わるうとして中、地方都市にとって『まち、ひと、しごと』という考えは、明治維新以来、地方分権とながら独自性を許さなかつた国が独自性を担保する仕組みである。マジヨリティを捨てマイノリティ、本当に困っている人に税を投与する、税投与逆進性の時代で有権者はそのモノサシを

第1分科会 社内では、共に働く仲間として浸透

第一分科会では(株)丸忠の喜納朝勝社長より「障がい者雇用が社風を変える」みたいな違ってみんな良い」のテーマで報告されました。

多岐決をしなくても意見が収束するには、所属する人の人間性の高さが求められ、真にホワイト企業の考え方を市民と取り組んでいく実践的な内容でした。

守礼ネット会 第1回いちゃりばうちな〜観光研究会 wi-fi 外国人観光客の満足度は低い!

十月二十日、守礼ネット会の第一回いちゃりばうちな〜観光研究会が八汐荘にて開催され、守礼ネット会やeおきななどから十名が参加しました。



観光から見たITについて学ぶ参加者

今年度は観光研究会や観光産業と異業種の連携を深めることを年

間テーマに掲げており、第一回目となる今回は、ITと観光ということ、沖縄県が進める無料Wi-Fiサービス事業等について、沖縄県文化観光スポーツ部

観光振興課誘致企画班・主査の上地正明氏に取り組みを紹介してもらい、全体討

社労士・コンサルタント 青山喜佐子の 知って得する シリーズ131

職場でいろいろな「カイゼン」実施していますか。一人ひとりのカイゼン力が職場の問題を解決していきます。改善の手法はいろいろありますが、作業効率の改善で使われる「ECRS(イクルス)」について紹介します。

- ① Eliminate (エリミネート) 排除 なくせないか
- ② Combine (コンバイン) 結合 一緒にできないか
- ③ Rearrange (リアレンジ) 交換 順序を変更できないか
- ④ Simplify (シンプルファイ) 簡素化 単純にできないか

善していく考え方は、製造業の生産性向上を行うために開発されましたが、デスクワークや営業、小売業、サービス業等、あらゆる業種、業務での利用できます。

4つの頭文字をとってイクルスと呼びます。具体例として

業務効率をカイゼンする「ECRS」を使ってみよう

「ECRS」を使ってみよう

(プロフィール)
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
オフィスあるふあ
TEL:098-870-6686

青山喜佐子
(オフィスあるふあ代表)

「人を生かす経営を学んだことが雇用のきっかけ。Kさんは、工場にてマットの洗いや仕上げを担当しており、記憶力抜群で、オリジナルマットの状況をきっちり把握して業務に取り組み、社内行事にも積極的に参加されているそうです。

「障がい者雇用に対して、余裕ができたなら、と先延ばしにするのではなく今やれることをやる」。喜納社長の言葉は中小企業家にとって、取り組みを見直すきっかけとなるメッセージでした。

「障がい者サポートも時代とともに大きく変化しています。インターネットが普及した現代では、働き方も多様化しており、場所や時間にとらわれない職場環境

「働く意欲や能力がありながら環境や機会に恵まれず、力を発揮する事が難しかったこれまでと違い、ITを活用する事で就労困難者が経済活動に参画することができれば、地域社会全体への大きな利益へつながると今後の可能性へ広がりを感ぜさせる分科会でした。

第2分科会 ITを活かした働き方の可能性

第二分科会は報告者四名(サンクスラボ(株)・社長の村上タクオ氏、(株)メジャーサポートサービス・リー

浦添市福祉部福祉付課支援給付係の安慶田忠係長、

学校の前川考治教諭、支援機関から社会福祉法人若竹福祉会の吉川嘉朝社会就労センター長、企業から総合包装(株)の宮城勇社長、コーディネーターはオフィスJキャリアの平良純子代表が務めて、それぞれの立場か

第3分科会 継続して「働く」には 連携がポイント

第三分科会では、「すべての人の『働きたい』に配慮する雇用・就労を支える連携とは」のテーマでパネルディスカッションが行われました。

パネリストは、行政から

らの現状や課題、取り組みについて報告があり、その内容についてグループ討論で学びました。

「働きたい」と考えている障がい当事者が、福祉施設の中で訓練をしていることに對して行政として最大限にバックアップをしているとの報告に対し、学校としては卒業後就職する生徒が徐々に増えつつあるとしながらも、継続して「働く」ことが困難な場合もあると。吉川センター長からは、若竹福祉会が地域で発展してきた施設であることに触れ、今後連携は地域が主体になることが望ましいとの見解がありました。

宮城社長は、実際雇用して離職した従業員の事例を通して、企業だけでは難しい継続の部分で、連携が取れば変わった結果になったのではないかと課題を投げかけました。

平良コーディネーターはこれからの関係主の連携・地域の連携で当事者の「働きたい」に応えることになるとまとめがありました。(トータルサポート商会・翁長克)

第4分科会 職場の働き手として 育てていくには何が必要か



花城麻衣子氏

第四分科会では、地域若者サポートステーション琉

球(以下サポステ琉球)の相談員 花城麻衣子氏より「コミュニケーションが苦手な若者への就労支援、企業と若年就職困難者のマッチングについて」のテーマで報告が行われました。サポステ琉球は二〇一四年四月に厚労省より事業を受託し、コミュニケーションが苦手な十五〜三十九歳の若者の就職のサポートをしている機関です。農業ジョブトレ、ボランティア活動といった体験型の活動や、インターンシップ制度、厚労省・沖縄県から受託の各職業訓練プログラムを活用し、現在の登録者数四五〇名、内二五〇名(五十五%)が就職に繋がっています。



片岡市長の話聞く参加者

八重山支部設立25周年記念講演会 できることから考えよう

十月七日、ホテルミヤヒエラにて八重山支部設立二十五周年を記念して講演会を開催。会員・会員外含め三十五名が参加しました。津嘉山航支部長の開会挨拶のあと、喜納朝勝代表理事が挨拶されました。

記念講演は「障がい者千人雇用で豊かな社会の実現をめざして」をテーマに岡山県総社市の片岡聡一市長が講演。片岡市長は、内閣総理大臣公設秘書など要職を務めた元総社市長選に出馬するも一度目は僅差で落選。『なにもかも失い丸腰になった時こそなにができるか。人間力が試される』と奮起。二度目は大差をつけて当選し市長に就任しました。

片岡氏は二〇一一年から本格的に障がい者雇用の促進に取り組みます。当初一八〇人程度の就労が九五六人(六月現在)。ゼロ歳から亡くなるまでの三段階で考え、学校を卒業した方の社会就労の低さを痛感。『千人雇用』を掲げたことで周囲の反対は大きなものですが、できることから考えようと説得。条例の作成や委員会を立ち上げました。これまで「モノ」を相手にしている障がい者雇用ですが、これからは「人の心」を相手にした仕事へ発展していく段階であり、周囲の理解があつてこそだと強調されました。

北部支部6次産業化委員会学習会 地域の素材を活用し、 商品開発へ



講師の前泊氏と6次産業について学ぶ

十月十七日、名護市産業支援センターにて沖縄県工業技術センター技術支援班の前泊知恵研究員により「6次産業化へ向けての意識改革」のテーマで北部支部6次産業化委員会学習会が開催されました。沖縄県工業技術センターの概要に始まり、6次産業の事例報告、センターの支援事例報告、さらには前泊研究員による、ブルーベリーの約六倍のアントシアニンが含まれている沖縄県産タンゲブを利用した食品素材の開発等、興味深い話しが沢山ありました。今回の学習会においては6次産業の再認識と農林漁業者等による地域資源(規格外、廃棄部分、副産物など)を加工し付加価値を高めています。

西 雇用しようとする 社内より強い反発が...

十月十四日、八汐荘にて那覇支部西地区例会が十名の参加で開催されました。報告者の(株)ビガロの宜保剛社長より、会社の現状から何故障がい者雇用に至ったのか語られました。しかし、いざ雇用しようとする社内より強い反発がありました。社内でも社内での「統合失調症」についての勉強会を開催するなどして受け入れ体制を整えたとの事です。さらに、雇用してわかった制度面についての話へと続きました。

現場では若手の社員に任せた事や宜保氏との交換日記等でのコミュニケーションなどを手掛けており、今年

現在は、委託事業所を通じて障がい者との関わりを持ち続け、「夢ケーキ」のイベントにも積極的に協力した報告でまとめられました。

十月二十日、八汐荘にて那覇支部南地区例会を開催しました。今回は、S T W E D D I N G J A P A N代表の高本小百合氏とブルーランジェリー・オーナーリー・いまい・パン・オーナーの今井陽氏に事業プレゼンをしていただきました。高本氏は、昨年一月に会社を設立し、インバウンドをターゲットとしたオリジナルコスチューム・フォト・リーガルウエディング事業などを手掛けており、今年

那覇支部 西・南地区例会

夫する)清掃(文字通り)の順番で行うこと。要らないものが減ると清掃範囲が広がってより清潔な事務所に変貌。事務所では、ごみ箱は床置きでなく宙に浮いている。整頓は、残業減少や有給休暇取得につながっている。「活動」とは、気づいて実行、継続すること。つまり、気づき課題発掘力、実行力、実践力、継続力、継続力、忍耐力が。整理は、時間、利益の取れない商売なども含まれる。空いた倉庫は家賃収入へ。継続のポイントは、共に頑張る異業種の仲間、ルールなどがある。3S活動は、「社員の基礎力を上げ、結果的に利益が上がる」賢い手法だと感銘を受けました。

経営学習会 & 共育寺子屋 第1講 社員と共に学ぶ、 中部支部!

経営学習会

十月十二日の中部支部経営学習会は売上向上のため

のマーケティングセミナー「二年で売り上げを三倍にする方法」のテーマで(旬)二ヘーデービルの西平守利社長(中部支部長)を講師に開催されました。

「こんなに面白いのなら友達も誘えばよかった」学習会後の懇親会でのある女性経営者の感想です。参加者十名。午後六時三〇分から九時までびっしりの中身の濃いセミナーでした。

「社長に告ぐ! 3S活動で社員が育ち、利益が上がる!」の強烈なタイトルで十月二十日、中部支部共育寺子屋第一講が開催されました。

講師は、八年間にわたって3S活動を継続中の(株)しかわ文明堂の石川京美社長。「3S」とは、整理(要らないものを捨てる)整頓(取り出しやすいように工



西平支部長を講師にマーケティングについて学ぶ

売上 × 客数 × 客単価 × リピート回数 というご存知の公式をベースに、それぞれの要素につい

て解説がなされました。三つの要素に分解することで課題と対策を単純化できま

外とできないのが客単価のアップ。しかし、徹底して差別化を行い、ここにこそ小回りの利く中小企業の強みを活かす。その他、様々な具体的な方法が語られました。紙面の都合でこま

会にお呼びください(笑) (中部支部広報経営IT委員長・新井良直)



石川京美氏

支部 営業力と地道な努力で V字回復

十月十七日、豊見城市社...



学びあった仲間と一緒に！

人生の中で物を探す時間が一番無駄な時間

宮古支部 グリーン光...

ITなくして 中小企業は成り立たない

eおきなわ「IT化事例発表会」...



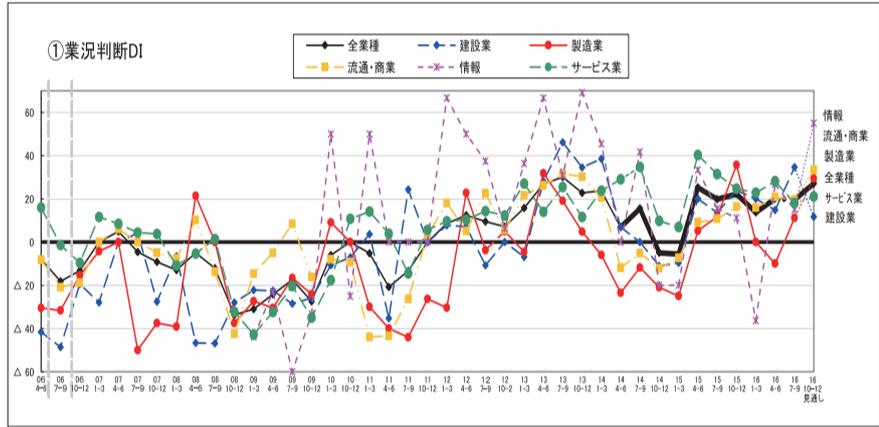
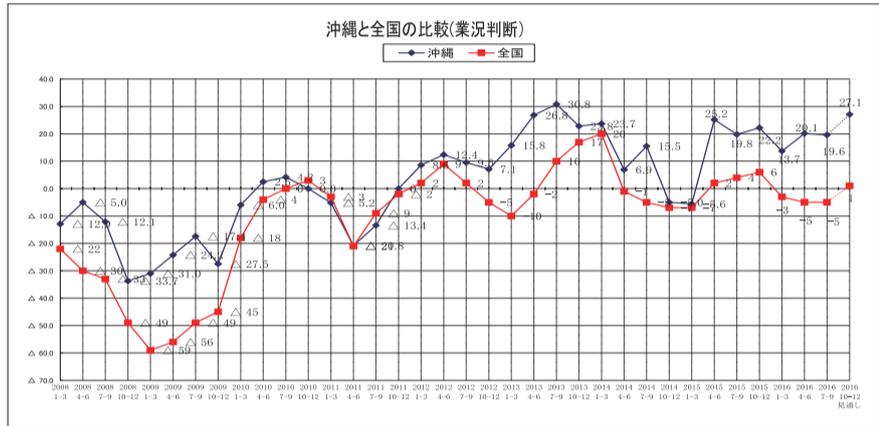
各社の発表に聞き入る参加者

2016年 7-9月期 景況調査の結果

- ①業況判断は前期からわずかに後退するも、前期に続きプラス超。建設業と製造業で大幅に改善し、全業種でプラス超に。

10月28日に発表された2016年7-9月期景況調査の結果を要約して掲載します

Table with 2 columns: 業種別 (Manufacturing, Commerce, Information, etc.) and 回答率 (Response Rate).



八月五日、沖縄大学と人材育成で協力推進する目的で、包括連携協定を締結しました。

沖縄海邦銀行 十月十八日、県内の中小企業の経営支援や地域経済の活性化を目的とした包括連携協定の締結式を結びました。

「今は金利が安いからいいだろうではなく、銀行には低辺に寄り添って欲しい。貸すだけでなく、企業を育てる。今回は、融資提携だけでなく、交流を重視した内容は全国的でも先駆的」と期待と語りました。

のゆとりとも称しています。最後に、お互いの会話から自分の一年後の姿を想像させ、手帳に自分の夢を貼りビジョンマップを作成することも自己実現をしていく近道と締めくくりました。

第21期同友会大学第18講 現地で平和について学ぶ 十月二十二日に同友会大学十八講（最終講義）が平和祈念資料館で行われました。



喜舎場氏（左）と千葉氏（右）



那覇支部設営の新会員オリエンテーション



各企業、色々工夫して学生へ説明する



共育塾第4講の講師 宮城勇氏



3S活動の取り組みを学ぶ



新会員のパフォーマー 仲宗根潤治さん



第4回新人フォローアップで先輩からの体験報告をする先輩



先輩からの報告をする先輩たち



合説で説明を受ける学生たち

フォトで見る10月の活動



雇用就労支援フォーラム第2分科会参加者



雇用・就労支援フォーラム開会式



輝く見本市のブース



西地区例会報告者の 宜保剛氏



南地区例会報告者の高本氏(上)と今井氏(下)



北部支部6次産業化学習会講師の前泊氏



北部支部6次産業化学習会講師の前泊氏



役員研修講座で条例等について学ぶ



ゲストの参加もあり、学びを深めたやんばる じんぶん塾



役員研修講座の講師 米田氏

わが社のPOPPOP 第262回

(株)國吉商店

専務取締役 國吉利江子氏



國吉利江子氏

糸満市西崎。様々な機械や車がせわしく作業をする様を見渡しながら、リサイクル業を営んでいる(株)國吉商店の事務所を訪ねました。明るく元氣な専務、國吉

チームでワークをする協調性が大切

利江子さん。「ちよつと変わった会社なんですよ。」と笑いながら話す(株)國吉商店は創業五十四年。現在は二代目の経営です。リサイクルでエコ活動の意識が高まったのは、ごく近年。創業当時は、3Kの代表的な仕事というイメージ。社に行く先にも不安を感じながらも、現社長は「この仕事は、なくてはならないもの。社会にとっても自然にとつても」という強い信念で二代目を継いだそうです。八名でスタートした二代目経営は、操業に時間や騒音等あらゆる制約のある市街地から環境の整った糸満の工業地帯に移り、今や四十名余の社員数の会社へ

と成長を遂げました。ここまで来るのに、いろんな壁を乗り越えてきました。リーマンショックの煽りを受け、社員を解雇しなければならぬ状況に。その時、こんな思いは二度と起こさないという思いで行動を起します。まず始めた事は週一で朝の勉強会。午前七時から始まる勉強会に不満も出ましたが、社員のためと思い参加は半強制的に。勉強会を始めてから八カ月が過ぎた頃、会社全体が変わって来ました。始めは講師を招いての勉強会でしたが、今では社員が自分たちで課題を見つけ、議題にあげ、資料を作り、八年間休まず続けているそうです。

社長や専務が大切にしていることは、「チームでワークをする協調性。どんなに敏腕な技術者がいても協調性がなければ成り立たない。社員一人一人が自分が社長という気持ちで、仕事を好きになって欲しいという思いがあります」と語ります。その他、社員とその家族も巻き込む行事を作り、安心して働ける会社づくりをしている、とてもアットホームな温かい会社でした。(トマトプリント 知念由紀)

(株)國吉商店

専務取締役 國吉利江子氏

所在地/糸満市西崎町5-1-2

TEL/098-840-9244

事業内容/スクラップ業



見本市の講演会の一コマ

MICE完成に伴う 周辺地域の発展へ!

ブースでは、中小企業の魅力をPR

参加者は会員以外にもMICEに興味がある方が集まり一三〇名でした。大型MICEは二〇二〇年に与那原町・西原町に完成予定です。第一部では、県主催の「大型MICEにおけるまちづくりアイデアコンペ」にて最優秀作品賞に選ばれた(株)大林組の葛西秀樹氏と(株)日建設計の青木洋一氏に伴う周辺地域の発展について講演していただきました。LRTやサンライズを利用した施設なども紹介され、参加者から質問もたくさん飛び交いました。

第二部では、一般社団法人沖縄観光コンベンションビューローの海外事業部の加賀谷陽平部長に、MICEとはどういったものか、有効活用について話してもらいました。

ブースでは、同友会会員企業と組織委員会の十社が出展し、企業PRと同友会活動のPRを行いました。

出展企業の中には、今話題のドローン展示(株)「黒ニンニク」(株)国際企画、義足装具の装具体験(有)赤田義肢製作所、リフォームや様々な汚れに洗浄マジックリン(ワー

ルド産業(株)、沖縄の氣候風土にぴったりな心地よい空間の提供(株)MICECORPORATION)、IT活用&環境経営を紹介(有)大宮工機)、水環境のコーディネート(有)沖縄浄管センター)、無意識高度の調査・分析(株)近代美術)、皮膚科が採用しているMT化粧品&超音波洗浄の無料体験など、各社様々なアイデアで出展ブースに花を咲かせていました。

同友会のブースでは、同友会の会員さんも立ち寄りなど、お互いに情報交換ができた三日間でした。

この間、四部会は連携し、色々な事に取り組んでいますので、ぜひ皆さんの参加お待ちしております!!



素敵な中庭

「那覇でも味わえる沖縄のリゾート感の演出に力を入れています」と話す新城



新城良仁氏

新館・リニューアルオープン! 人が集まる 憩いのホテルを目指して

国際通りからわずか一分という絶好の場所にあり天然温泉浴場の「りっかつか湯」も併設する「コミュニティ&スパ那覇セントラルホテル」。創業四十三年目の今年六月に新館・メインタワーがオープン、十一月末には旧館・イーストタワーのリニューアルオープンと、大きく生まれ変わろうとしています。新しくなった那覇セントラルホテルの魅力について、取締役・温浴部部長の新城良仁さんに伺いました。

第2回経営サポート学習会 成長のプロセスが可視化され、社員の安心に繋がる

十月二十四日、八汐荘にて第二回経営サポート学習会が二十八名の参加で開催され、(株)丸忠の喜納朝勝社長(代表理事)が報告しました。「共に育つ仕組みづくり」社員さんの成長を支援する成長支援制度」をテーマに人事評価制度の関わりについて学びました。喜納氏は、人事評価制度の前に先ずは三つの経営理念と五つの価値観の大切さを説明しました。

さん。メインタワーは部屋の内装・アメニティにどことどこだわり、長期滞在可能なコンドミニアムタイプのお部屋やスイートルーム(！)も用意し、グレイドの高いお部屋をご提供します。イーストタワーもリニューアルで内装・外装とも全てに手を入れ、さまざまなニーズに対応できるようにしました。

那覇セントラルホテル (株)まえたか 取締役・温浴部部長 新城良仁氏 所在地/那覇市牧志 2-16-36 TEL/098-862-6070 事業内容/ホテル事業、温浴事業 URL/http://www.nahacen.com/index.html

成長支援制度とは、入社してから定年退職するまで継続的に成長を支援する制度と位置付け、喜納社長が作成した十以上のシートを

後継者の役割は「会社の発展」

十月二十八日、南風原町・ちむくくる館にて、うりずん&南部支部合同例会が十九名の参加で開催されました。報告者は、来る第二十七回

基に進められ、「勤務態度」「知識技術」「重要業務」「成果」を各項目一点〜五点で評価し、一〇〇点満点になるように作られています。

うりずん・南部支部合同例会

ながつているそうです。喜納社長の「社員と共に成長したい!」という思いが強く伝わる学習会でした。



社員の成長支援制度について話す喜納氏

経営研究集会・第三分科会の報告者のイカリ消毒沖繩(株)取締役の仲本明氏。

後継者の役割は「会社の発展」ときつぱり。そのためには、労働型社長ではなく経営型社長になり、社員がイキイキと仕事ができる環境をつくり、売上アップに繋げていくことが大切とまとめました。

時も深く考えず、修行として本土の同業社へ出向。沖縄に戻り、本土の社員との意識の違いや社長の息子としてのプレッシャーを感じながらも、がむしゃらに仕事をしますが何か物足りなかつたときを振り返り、なにか「二ライみらい」は私のお気に入り。なかでも二〇〇回以上連載されている「わが社のポリシー」や「フェイスフェイス」は特に目を引く記事です。各社の方針や取り組み、そこで働く社員がイキイキと紹介されています。入会三年目の私は、若手経営者部会「うりずん」に所属しています。嬉しくなりますね。カラフルで写真付の紙面で報告されていると、もっと積極的に時間を作って参加しようという気持ちになります。今後、「二ライみらい」を読むのを楽しみにしています。(株)FINESS 上間洋典

フェイスフェイス 283

人事評価制度の構築から運用までの支援を行っている「あしたのチーム琉球」として二〇一五年七月に設立した(株)あしたのチーム琉球。入社して半年の伊藤崇さんにお話を伺いました。東京出身の三十歳。県内



伊藤 崇さん (株)あしたのチーム琉球 (会員: 社長 高橋恭介) 所在地/那覇市松尾 1-19-1 TEL/098-943-3635 事業内容/人事コンサルタント

企業の業績アップ支援として人事評価制度導入の営業活動や定期企業セミナーの開催などを担当しています。「評価制度のポイント」は、成果だけでなく、プロセス(行動)を大切にするため、経営者や社員の声を聞き取り、組織の課題分析、課題解決のための制度構築、制度を浸透させるための導入研修までを三ヶ月間ほどかけて実施しています。その後は

年単位で制度の運用状況をシステムクラウドで管理・評価をします。セミナーへの参加者も毎回増え、契約企業も数十社になり、この仕事に手答えを感じている」とイキイキと話をする伊藤さん。沖縄のエコ環境が好きで、最初は沖縄の海でシュノーケルやダイビングだった趣味が、今はガーデニングで野菜作りが主になりました。休日は家で二歳七カ月と遊ぶ時間を大切にしているイクメンパパ。次の楽しみは、子供と一緒に家庭菜園のナスやオクラの収穫だそうです。(ソムノクエスト(株)・江口直美)

読者の声

様々な団体の広報誌があるなか「二ライみらい」は私のお気に入り。なかでも二〇〇回以上連載されている「わが社のポリシー」や「フェイスフェイス」は特に目を引く記事です。各社の方針や取り組み、そこで働く社員がイキイキと紹介されています。入会三年目の私は、若手経営者部会「うりずん」に所属しています。嬉しくなりますね。カラフルで写真付の紙面で報告されていると、もっと積極的に時間を作って参加しようという気持ちになります。今後、「二ライみらい」を読むのを楽しみにしています。(株)FINESS 上間洋典

文進印刷株式会社 本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4 TEL(098)996-3356(代) FAX(098)996-3357 那覇営業所/〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18 TEL(098)855-2323(代) FAX(098)996-3357 浦添営業所/〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14 TEL(098)879-9303(代) FAX(098)996-3357 宜野湾営業所/〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2丁目4番16号 コーポ地下203号 TEL(098)898-1055(代) FAX(098)996-3357 沖縄営業所/〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里2丁目1番3号 TEL(098)937-8607(代) FAX(098)996-3357 糸満営業所/〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町3丁目510番地110 TEL(098)994-5777(代) FAX(098)996-3357 うるま営業所/〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5 TEL(098)973-5676(代) FAX(098)996-3357

出産祝いは沖縄子育て良品 OKINAWA KOSODATE RYOJIN 沖縄生まれカラダにやさしい、キモチにやさしい 赤ちゃんから使える商品がいっぱい ママも赤ちゃんも嬉しいごだわりギフト! 沖縄子育て良品 098-996-2550 住所 南風原町宮平259-101 Email shop@kosodate-ryojin.com 定休日 日曜(第1日曜を除く)、祝、第1月曜 営業時間 10:00~17:30 小売店 OPEN 沖縄県産業支援センター内2階 TEL: 851-8300

広告募集 ※詳しくは同友会事務局へ